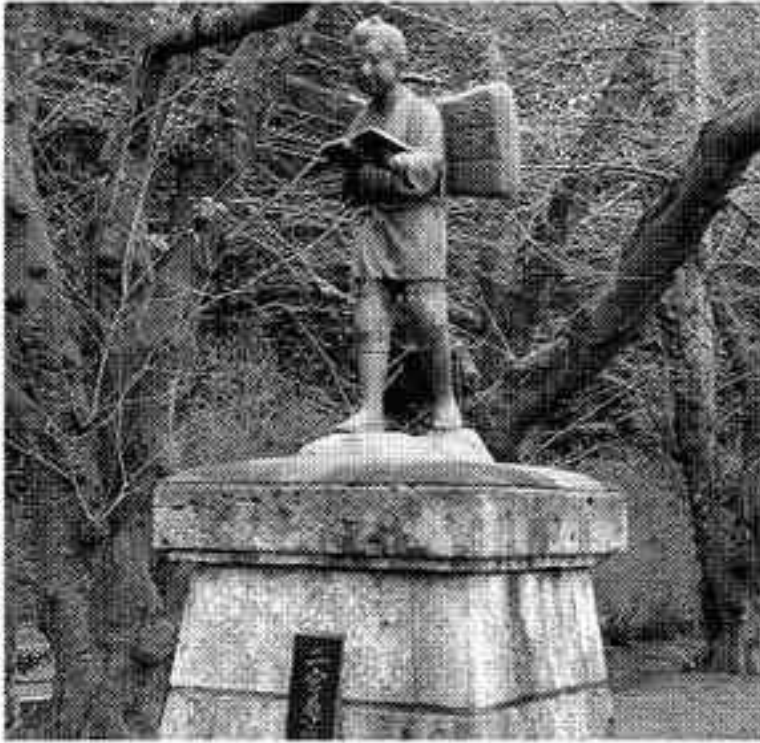


二宮金次郎の銅像盗難



栃木県真岡市の市歴史資料保存館に設置されていた二宮金次郎の銅像。市教委提供

栃木県真岡市の市歴史資料保存館の敷地に設置されていた二宮金次郎の銅像がなくなっていたことが5日、市教育委員会への取材で分かった。銅像は高さ約1.8メートル。台座の上に設置されていた。県警真岡署が窃盗事件として捜査している。

市教委によると、3日午後、住民が気づき駐在所に伝えた。

4日に保存館を管理す

栃木・真岡、高さ1.8メートル

る市教委にも報告があり、真岡署員と市教委の職員が確認。市教委が真岡署に被害届を提出した。

保存館は廃校を活用した無人施設で、入り口の門は無施錠だった。

二宮金次郎（尊徳）は1823年に現在の真岡市に家族と移り住み、約30年間、市内で暮らした。ゆかりのある市内には今回なくなったものを含め計27体の金次郎像があり、そのうち13体が銅像だという。